

2025.3
No.158

膳所 市民ニュース

ZEZE CIVIC NEWS



発行 膳所まちづくり委員会
編集 情報発信部
膳所市民ニュース編集班
(膳所市民センター内 ☎077-524-2205)

市民ニュースHPには、お知らせやトピックス掲載中。

特集 膳所幼稚園 創立90周年

地域と共に歩んできた軌跡を振り返ります

3月14日(金)、膳所幼稚園で卒園式が行われ、年長組の19人の園児達が立派に巣立っていきました。膳所幼稚園で先生や友達と一緒に過ごしたことを忘れず、元気いっぱい的一年生になってくれることを期待しています。

膳所幼稚園は、令和7年度で創立90周年を迎えます。今号の特集は、膳所幼稚園が地域とともに歩んできた軌跡を、写真とともに振り返ります。



膳所幼稚園は心のふるさと

膳所小学校に隣接し、横にJRが走る膳所幼稚園。広々とした園庭にはサクランボや梅、柿など、実のなる木や美しい花々が四季折々に咲き誇り、園児たちの元気な声が日々こだましています。「園児の祖父母が『私も子どもも卒園生』とおっしゃるなど、三世代に亘って通われた方もいます」と村上園長は話します。他にも園歌を覚えておられる方から歌っていただいたり、「あの梅は記念に植えた」など、温かいお声掛けもいただくそうです。

膳所幼稚園が歩んだ90年の軌跡

膳所幼稚園は、膳所町が津市合併間もない昭和10年に、現在の滋賀銀行膳所支店の西側に創設。1年後に現在の場所に園舎が新築されました。

園児数は185人で、現在の倍近くの園児が通園。これに対して先生は4人しかいませんでした。



昭和45年、丸の内幼稚園が現在の生涯学習センターの場所に創設され、京阪電車を境に山側が膳所幼稚園、琵琶湖側が丸の内幼稚園にそれぞれ通園することになりました。



丸の内幼稚園(昭和49年)

昭和47年度の入園受付は、定員205人に対して290人の入園希望があり、適性面接で決めていたそうです。当時の新聞には「幼児の平気な顔と裏腹に、パパ・ママは真剣な顔つき」という記事が残っています。

その後、園舎・園庭の拡張や増築、果樹の植栽等を経て、昭和55年に新園舎が完成し、現在に至っています。平成2年には丸の内幼稚園と統合し、園児数は217人となりました。最近では、預かり保育や3年保育が始まるなど、時代の変遷とともに幼稚園の在り方も変化してきました。

創立50年記念事業 風船を飛ばし盛大に祝福

昭和59年には、創立50周年を記念して、PTAや地域の皆さんによる実行委員会が主催となって記念式典が開催。新たに飼育小屋が設置されたほか、将来の夢など思い思いに書いたメッセージを風船に付けて大空に飛ばし、創立50周年をみんなで祝いました。



実行委員長は、膳所学区体育振興会を長年務めるなど、膳所のまちづくりに尽力をつくってこられた堀池清典さん。今年1月にお亡くなりになりましたが、堀池さんも膳所幼稚園に通われており、園歌には、「汽車もごろごろ通ります」という歌詞にあるように、「SL機関車が走っていたことを憶えています」と話されていました。



子どもの豊かな心を育む 膳所音頭 どんど(と)焼きにふれる

膳所幼稚園は、昭和56年のびわこ国体で集団演技に出場したほか、全国美術教育研究会や全国幼稚園経営研究大会などで発表を行うなど、輝かしい歴史を歩んできました。

膳所小学校や地域との交流も盛んで、膳所茶の茶摘み、膳所石鹿太鼓・膳所音頭の体験やどんど(と)焼きの見学、桜まつりやふれあいまつりのステージ発表への参加など、園外活動を大切にしてきました。膳所音頭の『おさむらい〜歩く〜』のシーンでは、振りを覚えて楽しそうに何度も踊る園児の姿が毎年見られ、「膳所音頭を身体で感じ、地域に愛着を持つ良い経験になっています」と村上園長は話します。



膳所茶の茶摘み体験



膳所音頭体験

どんど(と)焼き見学

膳所幼稚園 90年の軌跡



行列ごっこ(昭和初期)

地ならし(昭和49年)

おもい掘り(昭和49年)



膳所幼稚園(昭和32年)



びわこ国体集団演技(昭和56年)



写真で振り返ります お餅つき(昭和50年代)



運動会(平成6年)

地域の皆様に愛される幼稚園を目指して

地域の皆様の温かい支えによって、90年の長い年月の間、膳所に根ざした幼児教育を継続でき、心より感謝申し上げます。膳所幼稚園では、膳所に伝わる伝統文化や自然に触れながら、地域の皆様とのふれあいを大切にしてきました。これからも、子どもたちの健やかな成長を願いつつ、未来にも継承していければと思っています。地域の皆様から愛される膳所幼稚園になるよう、歩み続けていきたいと思っています。

膳所幼稚園長 村上淳子



一枚の写真から 御大典奉祝武装行列

写真は、大正4年(1915年)11月10日、大正天皇即位の礼を祝う奉祝行事「武装行列」を氏子の青年団が実施した際に、膳所神社表門の前で撮影されたものです。膳所神社の氏子の皆さんが袴だけではなく、各家の鎧兜や武具を身に着けて、ものものしい恰好で参加しています。



3月30日 お花見と膳所桜まつり

毎年恒例の膳所桜まつりが3月30日(日)に開催されます。会場となる膳所城跡公園では、午前10時から午後3時頃まで、フリーマーケット(約30店)や膳所商店街、おやじ倶楽部などの模擬店、表千家緑水会膳所の皆さんによる野点茶会(500円)も開かれます。



野外ステージでは膳所を中心に活動する様々なグループが音楽やフラダンス、ジャズダンスなどで会場を楽しく盛り上げてくれます。満開の桜とともに是非お楽しみください。

膳所城跡公園やその周辺には、約100本の桜が植えられています。老木も多く、倒木のおそれがあるものは毎年1~2本ずつ石鹿地藏世話人会が天津市の了解を得て、植え替えてこられました。今年の秋以降には天津市が企業の協賛を得て、桜の植え替えを進められるそうです。来年の桜まつりには若い木々の花が見られるかもしれません。

5月3日開催

135年目の五社祭

五社とは、かつての膳所五か村の氏神様である石坐神社、和田神社、膳所神社、篠津神社、若宮八幡神社の総称。明治23年(1890年)、20年ぶりに膳所に帰ってきた最後の膳所藩主本多康稷の希望で始まったとされる五社祭が今年も5月3日(祝)に開催されます。昼前から五社が揃って巡行し、朝早くと午後2時頃からは各社での神輿渡御が行われます。詳しい時間は五社におたずねください。



膳所歴史資料室夏季企画展は「膳所城跡公園」

今年の膳所歴史資料室夏季企画展のテーマはかつての膳所城本丸跡「膳所城跡公園」。市民の憩いの場であり、レクリエーションの場でもある公園を絵画で描いた作品展です。期間は6月28日(土)から7月9日(水)の予定。



膳所焼美術館武者人形展

膳所焼美術館では、4月26日(土)から5月5日(祝)まで武者人形展を開催。膳所焼美術館が所蔵する大正昭和の武者人形に加えて、膳所の方などからお借りした人形を展示されます。露地庭の新緑やお茶とともに楽しみください。

入館料：千円(お抹茶付き)
問合せ：電話 077-523-1118



◀▲ 昨年の様子

5月15~17日 膳所幼稚園90周年記念イベント

膳所幼稚園の創立90周年を記念して、地域や保護者との連携イベントが予定されています。是非、お越しください。

写真展やマルシェ

膳所幼稚園写真展

懐かしい写真やアルバムを展示するなど、90年を振り返ります。廃園となった丸の内幼稚園コーナーも予定しています。

日時 5月15日(木)・16日(金)14時30分~16時30分
17日(土)11時~16時30分

膳所わっくわくマルシェ

園児や地域の皆さんによるステージ発表を始め、卒園生の「餃子屋はまだ」や膳所小学校おやじクラブなどが出店します。

日時 5月17日(土)
11時~14時



膳所火まつり中止の経緯

30年以上続いてきた「膳所火まつり」が今年中止になりました。膳所まちづくり委員会では、中止の理由として「ふれあいまつり」や「桜まつり」などの事業経費が大幅に増えているのに対して事業所等からの協賛金や自治会からの負担金(1世帯250円)は会員数減少等により減り続けていること。さらには事業の中核を担ってこられたスタッフが相次いで他界されたことにより運営体制が整わないことなどをあげています。膳所まちづくり委員会では「膳所桜まつり」終了後には事業全般の見直しと運営体制の再構築を進めたいとのことです。

消防用ノズルの盗難注意

各町内に設置されたホース格納庫は火災時に備えて施錠されていませんが、他市ではホース先端に付けるノズルの盗難が相次いでいます。



古い写真を探しています

市民ニュース編集部と膳所歴史資料室では、昭和以前の膳所の様子分かる写真を探しています。古いアルバムを処分される際にはお確かめいただき、古い膳所の写真があれば是非お知らせください。

膳所学区の主な行事や会議日程 4月~6月

- 4/9 膳所小学校入学式
- 4/12 膳所歴史資料室総会
- 4/15 膳所まちづくり委員会4月定例会
- 4/20(日) 膳所歴史資料室4月開館日 [以後毎月第3(日)]
- 4/20(日) 南部の河川水路清掃(膳所南部の川を美しくする会) [以後6/8、8/3、10/19]
- 4/22 膳所学区自治連合会総会
- 4/27(日) 相模川河川清掃(相模川を美しくする会) [以後毎月第4(日)]
- 4/29(日) 膳所学区体育振興会総会
- 5/15 膳所まちづくり委員会5月定例会
- 5/16 膳所学区社会福祉協議会総会
- 5/18(日) 膳所プリングアップ総会
- 5/23 膳所学区自治会長会定例会
- 5/24 膳所学区自主防災会総会
- 6/上旬 相模川を美しくする会総会
- 6/13 膳所まちづくり委員会6月定例会
- 6/27 膳所学区自治会長会定例会
膳所学区文化振興協議会総会

町対抗

グラウンドゴルフ大会

1月26日(日)、膳所小学校運動場で、膳所学区体育振興会主催の町対抗グラウンドゴルフ大会が行われ、15自治会が参加しました。

グラウンドゴルフは、運動場や河川敷・公園などを会場に、自由にコースを設定することが出来ます。大津市でも昨年6月、大石淀町に新たにグラウンドゴルフ場がオープンするなど、子どもからシニアの方まで楽しめる人気のスポーツとなっています。

この日のグラウンドコンディションは、雨天等の影響もあり、デコボコの状態だったため、

思うようにボールが転がらず悪戦苦闘する姿も見られましたが、それでも時折ホールインワンも出ており、大変盛り上がった大会となりました。各ブロックの優勝チームは、次のとおりです。



Aブロック 別保一丁目一区

Bブロック 木下町

Cブロック 別保三丁目二区

Dブロック 杉浦五区



新春書き初め会

1月4日(土)、膳所市民センターで新春書き初め会が行われました。書き初め会は膳所ブリ



ングアップが主催して毎年新春に開催しており、今年は約40人が参加しました。

森川あい子さんはじめ講師の方々の指導の下、子ども達は新しい年を迎えての抱負や目標などの字を力強く書き上げました。毎年参加しているという10歳の児童は、「もっと上手く書けるよう、頑張りたい」と話していました。



子どもたちが書き上げた作品は膳所市民センターに展示され、力作に見入る姿が見られました。

震災フォーラムと

膳所の災害史・阪神淡路大震災写真展

膳所歴史資料室運営協議会が1月11日(土)から19日(日)まで、膳所市民センター2階歴史資料室で開催した「膳所の災害史料と阪神・淡路大震災震災写真」は多くのマスコミにも取り上げられ、市内外から9日間で300人近くの方が訪れました。訪れた方からはボランティア活動への敬意と震災の恐ろしさを再確認できたとの感想が多数寄せられました。



また関連行事として1月13日(祝)に開催された震災ボランティアフォーラムは、ボランティアとして活動をしている後藤祐紀さんと元藤大幹さん、阪神淡路大震災で一滴の名で活動した市民ニュース編集長の寺田がボランティアの現状や課題について話し合い、出席者からは、「実際に活動する方たちの声が聞けて、気づけることも多かった」との感想が聞かれました。



いざという時のため

膳所学区自主防災会では、2月2日(日)膳所市民センターで胸骨圧迫の方法やAEDの使い方など救命研修を開催し、防災士や各町防災委員など約35人が参加しました。参加した女性は「最初はどきどきしたけど、やって

みたら案外簡単でした。大変貴重な経験になりました」と話されていました。研修の後は自治会員を対象に避難所マニュアルの説明会と消火訓練が実施されました。



「膳所遺産」発表会

2月10日(月)膳所小学校で6年生による「膳所遺産」発表会がありました。「膳所遺産」とは6年生たちが調査した次代に残したい膳所の魅力のことで、お城や茶臼山、膳所焼など様々なテーマごとに18のブースが作られ、各ブースの6年生4~6人が一人ひとり考えを発表しました。招かれた地域団体の人たちや下級生たち



は各ブースを自由に訪ねて熱心に耳を傾け、質問や拍手が起きているブースもありました。「膳所の歴史文化を全国に発信し、未来に引き継ぐためには自分自身が地域の行事などに参加していくべきだ」と考えを述べた児童の発表には、見学に訪れていた地域の人たちから「子どもたちがよく勉強して、こんなに真剣に膳所のことを考えてくれていて、とても感動した」との声も聞かれました。



ヨシ刈りと湖岸清掃に170人

びわ湖の水質浄化に役立つヨシ帯は、枯れている時期に刈り取り焼き払うことで新たな発芽を促すことから、膳所学区でも30年以上前からその活動に参加しています。

2月15日(土)膳所城跡公園北のお堀跡では、自治会の皆さんなど90人が参加してヨシや雑草の刈取りと湖岸清掃が行われました。



また膳所体振スポーツ少年団の子どもたち79人はなぎさ公園の清掃に参加。ゴミ袋20袋分の缶やペットボトル、ビンなどを回収しました。なお、ヨシ焼きについては、大津市消防団膳所分団の皆さんにご協力いただきました。



鬼は外、福は内



2月2日(日)の節分の夜、和田神社では約200人の子どもたちによる豆まきが行われ、和田神社和加樹会のメンバーが扮した鬼たちも元気な子どもたちの迫力に押しされ気味でした。



ヨシ帯で水鳥観察会



ヨシ帯環境保全事業の一環としてヨシ帯での水鳥観察会が2月9日(日)に開催。厳しい寒さの中、膳所浄水場横のヨシ帯で「カイツブリ」や「バン」、足に青色のカラーリング(標識)を付けた「オオバン」などを見つけた13人の参加者は大喜びでした。なお、標識は今年の冬に草津でつけられたものだそうです。



大津晴嵐会と 広瀬習一



現在は日本精工大津工場となっていますが、戦前は旭ベンベルグ(現旭化成)が操業しており、そこに野球部がありました。名前を大津晴嵐会といい、昭和13年(1938年)昭和14年(1939年)に都市対抗野球にも出場しています。大津晴嵐会には後に巨人軍で活躍した悲運のエース広瀬習一が所属していました。広瀬は大津商業高校から大津晴嵐会を経て巨人

に入団、昭和16年(1941年)、17年(1942年)巨人軍で21勝6敗の成績を上げましたが、昭和18年軍に召集され、19年(1944年)レイテ島で戦死しました。享年22歳でした。

「戦火に消えた幻のエース」(上田龍著 新日本出版)より

*広瀬習一さんについては、上田龍著「戦火に消えた幻のエース」と観光タクシーの渡邊浩志さんから多くのことをお教えいただきました。

コラム 膳所に感謝の99年 ⑩

「神社やお寺の行事」桂 茂生

戦時中には、母親の尻に付いて篠津神社でお百度詣りをしていました。短い竹の棒を100本持って篠津神社社殿を1周するごとに用意した箱に入れていました。いつも10人以上の人たちが戦地にいる家族の無事を祈っていました。篠津神社でのお百度詣りのほかにも、大津市伊香立の還来神社にも参拝に行っていました。還り来ることを願ってのことです。当時の私の隣組は14軒でしたが、私が出征する前に4軒で出征し、4人とも亡くなくなりました。5人目の私は内地であったため、生き残りしましたが、いかにひどい戦争をはじめたのかと思います。

篠津神社では盆踊りのあと、たくさんのカワラケの灯心に火を点けてきれいなものでし

た。茶臼山山上の秋葉神社では、祭礼の後護摩が炊かれ、修験者が四方に矢を放っていました。1月20日から節分の頃まで、大寒の時期には妙福寺の上人様が昼には太鼓をたたいて椿原から私の家の前を通り膳所小学校に向かって歩き、そのあと境内で冷水をかぶる水行をしておられました。現在ではもう行われていませんが、お盆の送り火のあとはお供えを自然に返す意味から琵琶湖に流していました。流すと言えば板の上を紙で囲い、そこをろうそくの火を灯して御殿浜から瀬田川へ灯籠流しもしていました。いつも40~50ほどがゆらゆらし流れていく様子はとてもきれいなものでした。不動寺では護摩焚きも行われていましたが、今よりももっと広がったのだと思います。

*1926年(大正15年)1月、中庄二丁目(桜馬場)に生まれた桂さんは今年白寿(99歳)を迎えられました。

膳所商店街《協賛》

市町の名前パズル

□の中に漢字1文字を入れて、矢印の方向に2字の市名や町名4つができるようにしてください。

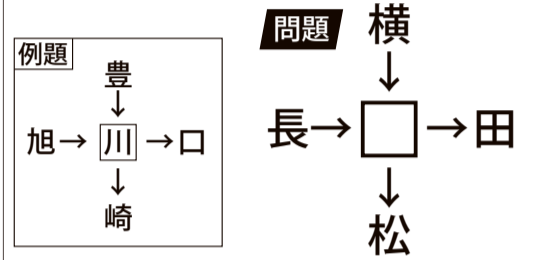
正解者の中から3名の方に、膳所商店街商品券(千円相当)をプレゼントします。

応募方法/ハガキに答と住所、氏名、面白かった記事や感想をご記入の上、「〒520-0812 大津市木下町7-6 寺田智次」まで。

メ切/令和7年4月30日消印有効。

当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。なお前回の答は「川」でした。

ヒント:長□は黒壁で有名な滋賀県内の市です



膳所商店街のお店と事業所(順不同)

- 金波(丸の内町9-30) ●中山製茶(中庄2-1-58) ●富永園茶舗(膳所2-10-15) ●いとう呉服店(中庄1-15-23) ●御菓子司亀屋廣房(本丸町3-7) ●中塚電機(中庄1-13-12) ●高木生花店(中庄1-15-10) ●竹内自転車店(杉浦町19-16) ●HAIR MAKE PROOF OF POWER(中庄1-11-19) ●京都新聞膳所販売所(秋葉第11-5) ●山本石材店大津店(相模町2-44) ●もも薬局(丸の内町9-30) ●池田生花店(膳所2-2-21) ●文具まつら(相模町4-12) ●貴宝堂よこの(丸の内町4-38) ●馬杉湖魚店(本丸町1-3) ●ガジェットハウス(膳所2-10-13) ●澤建設工業所(膳所1-4-20) ●滋賀銀行膳所支店(本丸町1-18) ●松田常盤堂(本丸町5-56) ●いのうえ(丸の内町4-41) ●西久興産(膳所2-13-6) ●読売センター膳所(丸の内町4-40) ●加藤酒店(木下町13-1) ●京都信用金庫膳所支店(本丸町1-1) ●ライフハピネス(御殿浜7-22)

膳所の気になる木⑩

「篠津神社のケヤキ」

かつて膳所城北大手門だった篠津神社表門(重要文化財)を入れて正面の拝殿左、樹高30m近くになる大木が、大津市の保護樹木に指定されたケヤキです。樹齢400年を数え、冬の空には網の目のような模様を描く樹影が美しく、初夏は葉と枝を扇状に広げて境内に木陰を作ってくれています。



第28話 町名に歴史あり「本丸町」

膳所城の天守がある本丸は現在の膳所城跡公園ですが、関ヶ原の戦いの後に築城された膳所城では、膳所城跡公園を東西に分けて琵琶湖側が本丸、山側は二の丸でした。それが寛文2年(1662年)マグニチュード7.6の大地震で天守が傾き、櫓が崩壊したことをきっかけに本丸と二の丸を統合して、新たな本丸とするとともに現在の浄水場の一部に新しい二の丸を築きました。生涯学習センターや膳所団地のあたりは奉行所などがありました。



こぼれ話⑬ 茶臼山は在来種のタンポポ群生地

タンポポには古くから日本にいる在来種と外来種や雑種があります。現在公園やまちなかなどで見かけるものはほとんどが外来種や雑種ですが、茶臼山のタンポポの多くは在来種(関西タンポポ)でしかも群生しています。花を下で支える緑の部分が開いているのは外来種や雑種、開いていなければ在来種です。是非一度身近なところで確かめてみてください。案外在来種を見つけられるかもしれません。



読者からのお便り

市民ニュースの読者の方から、クイズへの回答に併せて前号(157号)の記事などについての感想をたくさんいただいていますので、一部を紹介します。

- コラム/桂さんのお正月のしきたりよくわかりました(別保一Tさん) お正月に関する沢山のことが知ることができて嬉しいです(木下町Oさん)
- いろはカルタ/常に拝見しています。内容の立派さに驚いています(膳所二Yさん)

■気になる木/和田神社のイチヨウ早速行ってビックリ(本丸町Aさん) 和田神社のイチヨウのこと勉強になりました(木下町Oさん)

■震災から30年/その日の朝、二階で寝ていた私と妹に今は亡き父が「大丈夫か」と階段をさがってきてくれ家族を守る父の想いを感じました(昭和町Kさん) あの時テレビで見て「世の果て」かと思いました。なんにもできなかった。膳所の皆さんにはいち早く行動され敬服します(別保三Kさん)

■こぼれ話/「やばい」が矢場から来ている。参考になりました(中庄二Kさん)

■読者からのたより/御殿浜に住むものですが、60年ぐらい前に膳所平和町ともひとつが合併して御殿浜になったということを知っています。「ごてんがはま」か「ごてんはま」か議論がありました。「ごてんはま」と読むのが通例です(御殿浜Kさん)

■その他/いつも楽しみにしています。中身が盛りだくさんなので作っている人の熱意が伝わります(丸の内町Yさん) 膳所保は50年、膳所小はお化け大会、いいね、私も参加したい。ますます膳所が好きになりました(丸の内町Eさん)